



～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

7月：文月（ふづき、ふみづき）

7月7日は七夕、織姫と彦星が年に1度会える日です。七夕には短冊に願い事を書いて笹の葉に飾ります。この時期は空気の澄んだ電燈が少ない地方や高地では天の川を観る事が出来ます。

～手足口病・ヘルパンギーナについて続報～

東京都は7月2日手足口病の流行が警報レベルに達したと発表しました。手足口病は2年前にも大流行しましたが、ほとんどの患者さんは軽症です。稀に脳炎や髄膜炎を併発する事がありますが、多くは2～3日で回復します。

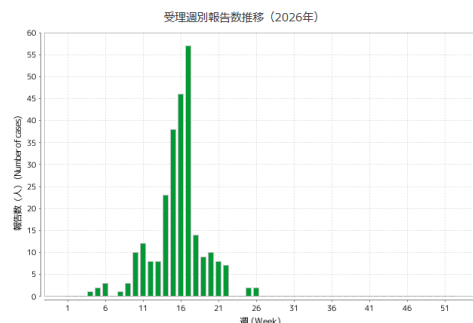
ヘルパンギーナと手足口病はどちらがうのでしょうか？どちらも夏風邪のウイルスですが、エンテロウイルスや、コクサッキーウイルスなど、同一のウイルスによって発症します。咽だけに水疱が出来るものをヘルパンギーナ、手、足、口に水疱が出来るものを手足口病と言います。潜伏期は3～5日です。40℃くらいに高熱が出ることもあります。3～7日で回復し、解熱してお食事が出来れば登園できます。

～伝染性膿痂疹（とびひ）について～

暑くなると、お肌のトラブルが増えてきます。虫刺され、汗疹、湿疹を掻き壊して傷が出来ると、細菌が感染してとびひになってしまう事があります。また、手足口病の水疱を掻き壊してそこからとびひになってしまう事もあります。とびひの水疱は、みずぼうそうや手足口病の水疱よりもサイズが大きく、水疱を触った手で触れた所に移ります。治療には、抗生物質の外用剤を塗りますが、広範囲であったり、どんどん増える場合には抗生物質内服を追加します。皮膚の接触でうつりますので、露出しないようにガーゼや包帯などで覆いましょう。入浴は皮膚を清潔に保つために毎日入りましょう。湯舟には浸からずにシャワーが良いでしょう。外用剤は水気をよく乾かしてから塗布しましょう。

～麻疹（はしか）について～

東京都では6月に入って以降は減少傾向にあります（下のグラフ）。平成18年以降は予防接種が二期接種（1歳と就学前）となり、麻疹の流行が制圧され、平成27年にはWHOによる麻疹排除達成の認定を受けました。それ以後は、国内発生のもはほとんど無く、国外からの持ち込みによる麻疹です。



■東京都感染症情報センターから麻疹の流行状況を引用

表：6月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	手足口病(153)・ヘルパンギーナ(13)	166
2	溶連菌（ようれんきん）	139
3	胃腸炎(アデノ1含む)	106
4	咽頭アデノウイルス(プール熱)	14
5	伝染性膿痂疹(とびひ)	11
6	突発性発疹	8
7	ヒトメタニューモウイルス	2
8	リンゴ病(伝染性紅斑)	1

あんず通信バックナンバーはクリニックホームページからご覧になれます



～あんずからのお願い～

★空き状況はWebで

ホームページから確認出来ます。**ご予約は前日または当日必ずお電話で(042-513-4158)**お願い致します。

👉空き状況はこちらから



★キャンセルをされる場合

留守番電話でも構いませんので当日8:30までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた**病名**によって、お部屋割りをしています。なるべく同じ病名（感染症）のお子様が同じお部屋にすることで、子ども同士の伝染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等を聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について

入室後、必要に応じて医師が診察をします。医療証と資格確認書又はマイナ保険証（スマホの方はマイナポータルから確認させていただきます）をお持ちください。

～病児保育室あんず求人終了の御礼～

お陰様で午前パートの保育士さんが5月から入ってくださいました。皆様のご協力に感謝申し上げます。これからも、温かく安全な保育を実施して参ります。

※ 夏休みのお知らせ ※

下記の期間は休業致します

病児保育室あんず 夏休み：8月15～23日

ご不便をおかけしますがよろしくお願い致します

しみず小児科・内科クリニック：8月16～23日夏季休診

★8月24日から通常どおり診療致します

